

文化財保存活動にご参加ください。
青木繁の代表作「海の幸」は館山市布良の「小谷家住宅」で描かれました。



青木繁「海の幸」 重要文化財
公益財団法人 石橋財団 アーティゾン美術館蔵

ご寄付のお願い

小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業

小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業



「海の幸」と小谷家

1904（明治37）年夏、東京美術学校を卒業した青木繁は、坂本繁二郎、森田恒友、福田たねと共に写生旅行に出かけ、房総半島最南端の小さな漁村・布良（めら）を訪れる。布良は現在の千葉県館山市富崎地区である。

繁と同郷の詩人高島宇郎が旧知であった柏屋旅館に数日泊まっていたようだが、「路銀に窮して、どこか世話をしてくれるところがないか。」という話で、布良の小谷という家にしばらく滞在することになった。当主の小谷喜録は、布良の網元だが、好人物で世話好きなどところがあり、南房総の海に魅せられてやってくる風雅人たちの面倒をこれまでも何度もみていたという。

2009（平成21）年10月27日に館山市の教育委員会は、この小谷家住宅を市の有形文化財に指定したのである。小谷家住宅は、海に下りる斜面窪地に、南向きに建てられており、玄関の土間を上げればすぐ8畳の表座敷、その東隣には6畳二間が続く奥座敷があった。繁たちはこの奥座敷二間を借りて逗留していた。

4人は近隣の海辺でスケッチをくり返していた。8月に入ったある日、一人洲崎方面までスケッチに行った坂本が、平砂浦の浜で見た裸の漁師たちの生々しい漁の模様を繁たちに話す。繁は坂本の話に興味し、翌日にはその現場に行き、漁師たちにその様子を聞き、残された鮫の残骸を丁寧にスケッチした。さらに、裸体のモデルに若い漁師や坂本らを担ぎ出し、奥座敷の二間で精力的に描きあげたという。これが後に青木繁の名を後世に残し、重要文化財に指定された代表作「海の幸」である。

真日まてり磯の岩床焼け赫けて底なる潮呻吟（うめく）に似たり

といった海岸風景をよんだ歌もあって、海浜散策に、絵画制作にと熱中している。この時期のようすを、福岡県八女市に帰省中の梅野満雄にあてた長文の手紙、8月22日の日付が入っている「絵入り書簡」は、よく当時の青木の姿を伝えている。

7月の中旬にやってきた繁たちは、9月の初めに小谷家を後にするが、この間、繁は「海の幸」や「海景」などの作品の他に、福田たねという女性とのロマンスも手に入れた。青木繁のみじかい生涯の中で、いちばん幸せな時期が布良での日々であった。

小谷家住宅は、平成26年度から2年にわたって修復工事を行い、現在『青木繁「海の幸」記念館』として一般公開を行っている。家屋そのものは、ほぼ青木繁たちが滞在した当時のままであり、200坪からなる屋敷の庭木も当時の佇まいを残している。

築後130年の月日を経た家屋を修復しつつ、保存活用を図り、公開していくためには計画的な修復工事が必要となっている。「海の幸」が誕生した文化的価値を永く後世に残したいものである。

（引用と参考：「悲劇の洋画家 青木繁伝」 渡辺洋、
「青木繁・坂本繁二郎とその友」 竹藤寛、
「青木繁展＜生誕90周年記念＞図録」 河北倫明、
「講談社版日本近代絵画全集 青木繁」 河北倫明、など）

1 寄附の名称 小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業

館山市のふるさと納税に係る事業のうち「小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業」に対する寄附

2 寄附金の活用方法

寄附金は、館山市指定有形文化財（建造物）「小谷家住宅」の修理に要する経費や、調度品（精巧な複製絵画を含む）等を修理後の建物に配置するための経費など、「小谷家住宅」の保存活用事業の円滑な支援のために充当させていただきます。

3 寄附の申込み

寄附のお申込みは「フレフレ・たてやま応援寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、館山市総合政策部企画課（〒294-8601 館山市北条1145番地の1 電話 0470-22-3163 FAX 0470-23-3115）宛に郵送かファクシミリでお送りください。

※ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」の寄附申込ホームからも申込みます。

4 振込み方法

次のいずれかの方法により、館山市へ「ふるさと納税（寄附）」をすることができます。

- (1) 郵便局・ゆうちょ銀行での払い込み
別添の「払込取扱票」に必要事項を記入して、お近くの郵便局・ゆうちょ銀行へご持参ください。
払込みにかかる手数料は不要です。
- (2) 郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振り込み
口座名義 館山市 館山市会計管理者（タヤマシ カケイカンリシヤ）
金融機関 千葉銀行 館山支店（タヤマシテン）
口座番号 普通 1253196
*振込みにかかる手数料は申込者の負担となります。
- (3) 現金書留
上記2でお送りいただいた寄附金申込書の写しと、「ふるさと納税（寄附）」をいっしょに、次の住所へお送りください。郵便料金は申込者の負担となります。
〒294-8601 千葉県館山市北条1145-1 館山市役所総合政策部企画課
- (4) 現金で「ふるさと納税（寄附）」をする。
館山市役所の総合政策部企画課までお越しください。

5 お問い合わせ先

ふるさと納税（寄附）に関すること

館山市総合政策部企画課
TEL 0470-22-3163

「小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業」
に関すること

館山市教育委員会教育部生涯学習課
TEL 0470-22-3698



青木繁「海の幸」 —小谷家住宅を館山市民の誇りに—

いまから100数年前、明治時代を駆け抜けた夭折の天才画家、青木繁をご存知でしょうか。青木繁の代表作「海の幸」（重要文化財）は、明治37（1904）年の夏、東京美術学校（現在の東京藝術大学）を卒業して間もない頃、現在の館山市布良にある小谷家で制作されました。

この「小谷家住宅（館山市指定有形文化財（建造物）」を保存しようと、館山市では青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会が設立され、地元富崎地区と一体になった活動を展開してきました。さらに、全国の美術関係者の皆様も、NPO法人 青木繁「海の幸」会を発足し、文化財保存活動を展開した結果、2年にわたる修復工事が行われ、平成28年4月に『青木繁「海の幸」記念館』として一般公開が始まりました。

こうした活発な市民活動により、地域の文化遺産に対する認識が深まり、「小谷家住宅」を通して、ふるさとの活性化を目指す、力強い鼓動を感じております。

それらが蓄積され、定着することにより、さらに豊かな文化が創り出されるものと確信しております。

まちづくりの貴重な財産として、「小谷家住宅」への一層の愛護が図られること、さらに、青木繁「海の幸」への想いをキーワードに、「小谷家住宅」を市民の誇りとするという目標に向かって皆で取り組んでまいります。